平成 28 年度（2016 年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文

A 日程入試

（注意）
１．問題冊子（表紙を含む）は５枚です。
２．問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
３．問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
４．解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 28 年度（2016 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小　　論　　文

出典：猪木武徳編『〈働く〉は、これから』（岩波書店、２０１４年）
第１章「成熟社会で〈働く〉こと」（杉村芳美著）１－５頁，３２－３５頁
なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにするなど、一部改変を加えた。

問１　上記文章の【第１パラグラフ】を読み、成熟社会における「働く意味」について、筆者がどのような問題意識を有しているのかを指摘し、成熟社会における働き方について筆者がどのような考えを有しているのかを、本文中に示されている他の見解に留意しつつ、６００字以内で説明しなさい。

問２　上記文章の【第２パラグラフ】を読み、筆者が考える「成熟社会にふさわしい働き方」について、３００字以内で説明しなさい。

問３　上記文章を踏まえ、成熟社会において法曹としてどのような意識を持って働いていくべきかについて、あなたの見解を５００字以内で述べなさい。なお、その際には、具体的に、裁判官、検察官、弁護士のいずれかを念頭に検討して構わない。

【第１パラグラフ】１－５頁
【第２パラグラフ】３２－３５頁